天井型システムフード
KC3型　設置工事説明書

工事をされる方へ

いつも当社製品をご利用頂きまことにありがとうございます。
この機器を正しく安全に使用していただく為に、この「設置工事説明書」をよくお読み頂き正しく工事して下さい。 この「設置工事説明書」に記載されている以外の設置が原因で生じた故障及び損害、人身事故は工事者の責任になります。また、保証期間内でも保証の対象となりませんのでご注意下さい。

安全上のご注意

● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取付け、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。　危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

⚠ **警告** ： 人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容。

⚠ **注意** ： 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

⚠ 警　告

● **修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造をしないこと。** 発火や感電・異常動作によるけがのおそれがあります。	● **仕様電源以外では使用しないこと。** 火災・感電の原因となります。
● **アースを必ず取り付けること。** 故障や漏電の時に感電することがあります。	● **配線工事は電気設備技術基準や内線規定にしたがって、安全・確実に行なうこと。** 誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。
● **室内循環型の場合は、火気換気必要量に見合う換気を必ず行なうこと。** 火気換気必要量は人が生きていく為の 最低限の　換気量です。	● **排気工事をされる場合は、建築基準法（同施工令）及び消防法などの関連法規にしたがって工事する。** 火災などの原因となります。
● **フード本体とダクトは、可燃物との間を10㎝以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。** 詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。	

⚠ 注　意

● **運転中は指や物を絶対に入れないこと。** けがをすることがあります。	● **ファンや部品の取付は確実に行なうこと。** 落下により、怪我をするおそれがあります。
● **本体の取付は充分な強度があるところを選んで 確実に行なうこと。** 落下により、怪我をするおそれがあります。	● **取付の際は、必ず厚手の手袋をすること。** 鋼板の切り口や角で怪我をするおそれがあります。

取付前の調査と準備

1. 取付面の強度確認

充分な強度を持った天井面に取付けて下さい。
強度が不十分ですと落下の危険があります。補強処置を施してから取付けて下さい。

	重さ
KC3－75FR	70kg
KC3－95FR	82kg

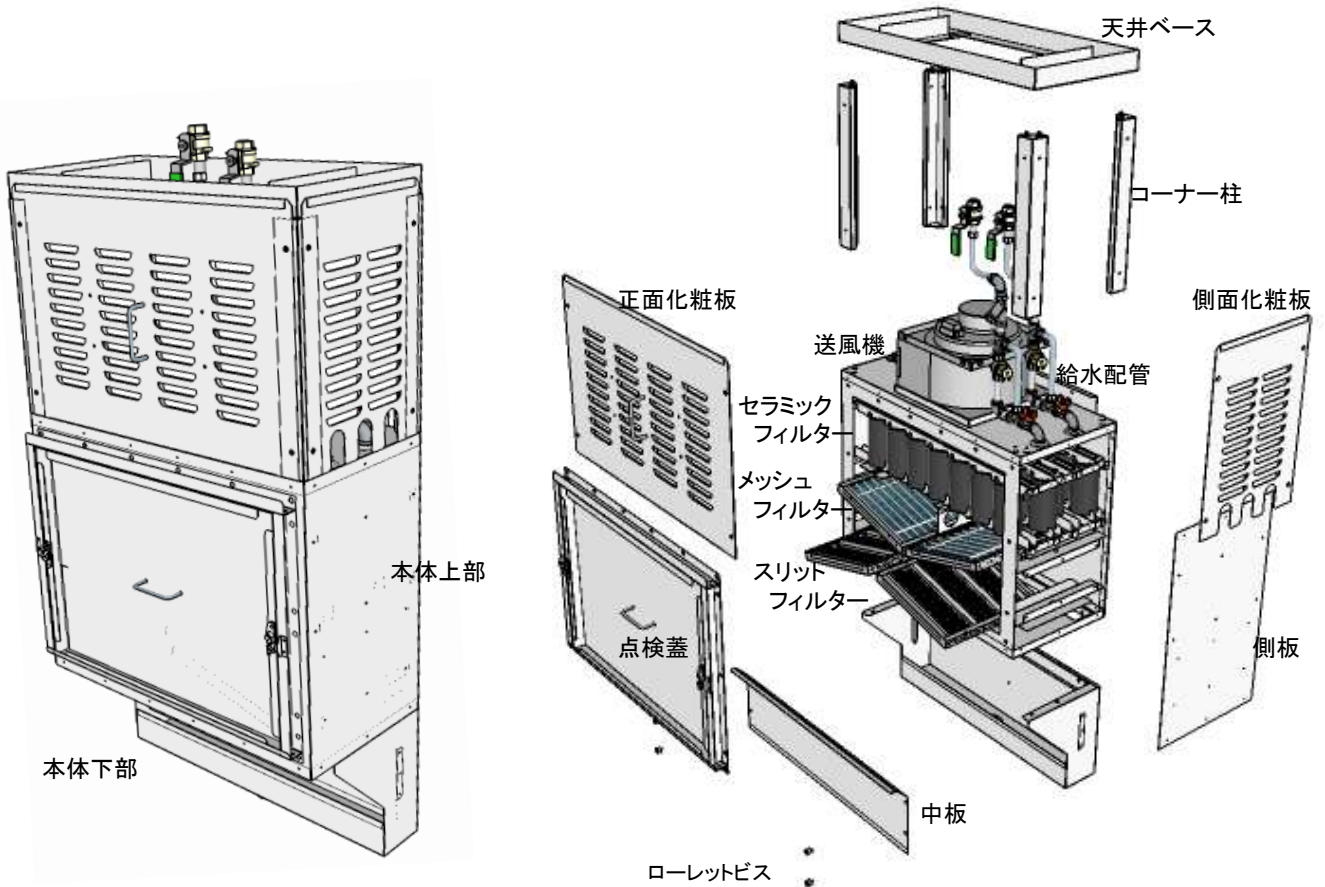
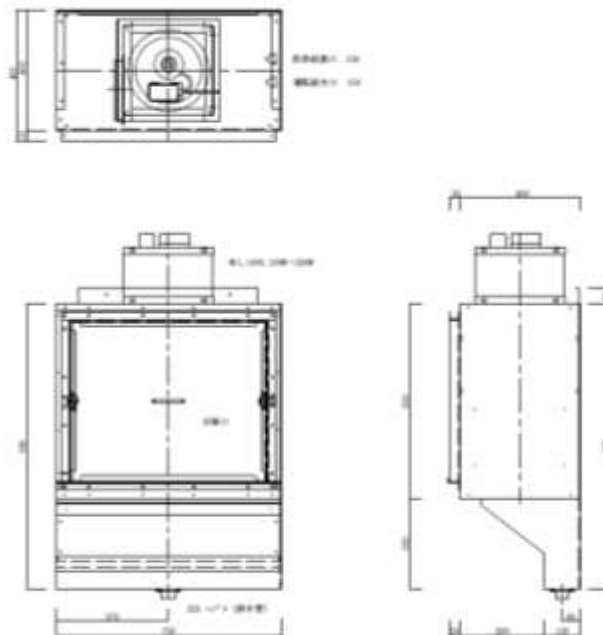
2. 部材の準備

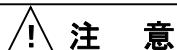
ﾊﾞﾌﾞﾙｸﾘｰﾝKC3型は、 1. ﾊﾞﾌﾞﾙｸﾘｰﾝ本体　2. 送風機　3. 自動給水ユニット　からなりますが、
排気工事に応じた別売部材を事前に準備してください(吊ボルト等)

3. 電源コンセント、ブレーカー

電源コンセント、ブレーカーは専用のものを設置して下さい。 送風機の選定によって電圧が変わります。

各部の名称

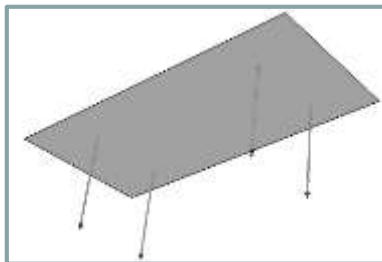
天井ベース
コーナー柱
正面化粧板
側面化粧板
送風機
給水配管
セラミック
フィルター
メッシュ
フィルター
スリット
フィルター
本体上部
点検蓋
側板
本体下部
中板
ローレットビス

製品寸法図(KC3－75)

取り付けかた

1. 天井の開口　ベース取付け

⚠ 注　意

● **本体の取付け工事は十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと**
落下により、けがをすることがあります。

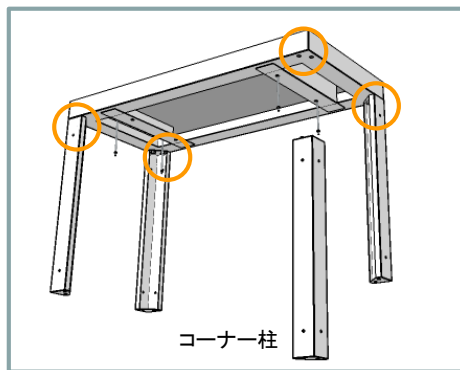
1. 天井ベースの外形寸法図参照の上、天井開口位置及び吊ボルト取付位置を決定します。

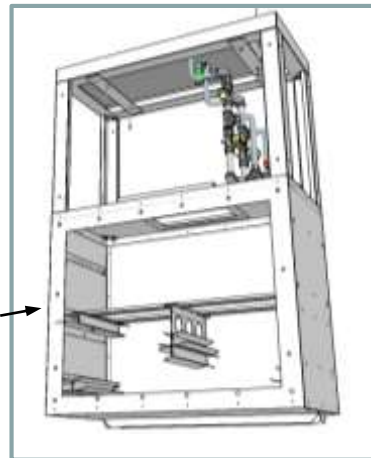
2. 天井を開口します。

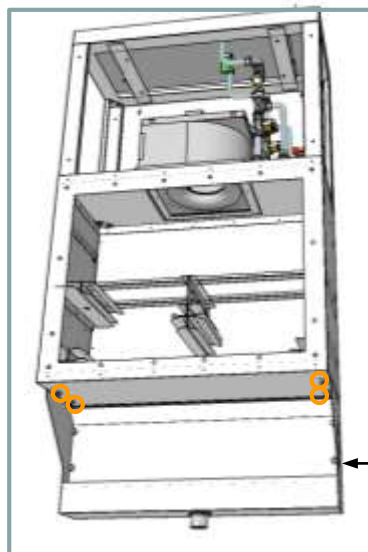
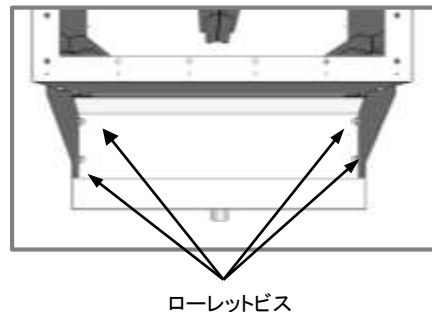
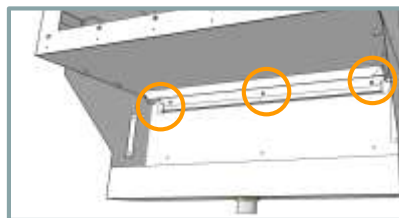
3. 吊ボルトの取付位置にアンカーを打ち必要な長さの吊ボルトを垂らします。

4. 天井ベースを吊ボルトで挟んで固定します。

※天井ベースの固定方法は、天井材等により、変更する場合がありますが、充分な強度を保てるように確実に取付てください。

※天井裏に障害物等があり、定位置で取付できない場合の施工例

5. コーナー柱(4本)をM8ボルトナットセット（8ケ）で取付けます

2. 本体の取付

6. KC3本体上部をコーナー柱にM8ナットセット（8ケ）で固定します。

7. KC3本体下部と本体上部とをM8×10L（4ケ）で固定し、送風機を本体上部に設置します。

※送風機は吹き出し口が左向きになるように置いて下さい。

8. 本体下部のローレットビスを外し、下部点検口を開けて、

9. 本体上部とM8×10L（3ケ）で取付けます。
※スプリングワッシャーのみ

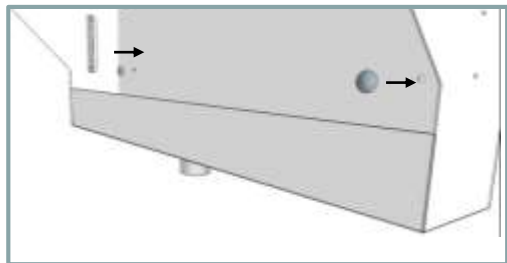
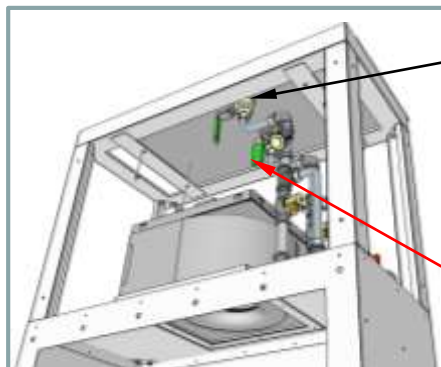
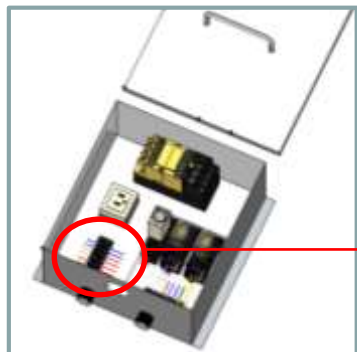
取り付けかた

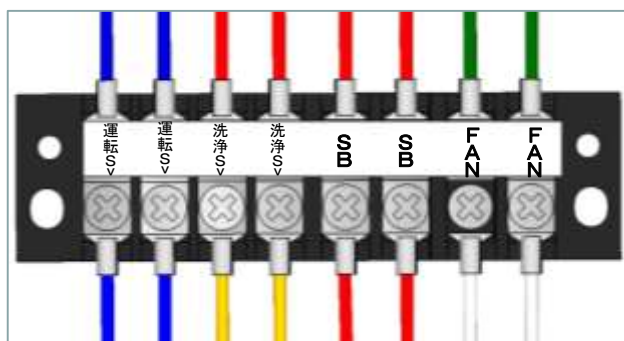
3. 本体と壁を固定

10. 本体下部を壁にビス止めします（2ヶ所）

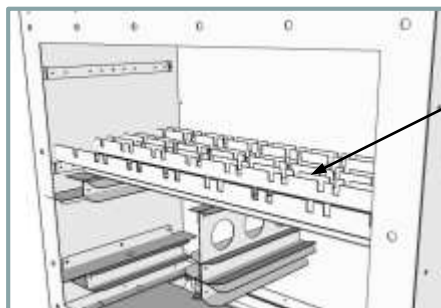
※水が漏れないようにシール剤でしっかりと覆って下さい。

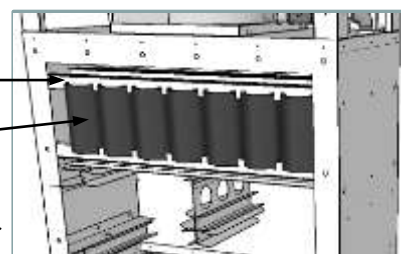
5. 配管

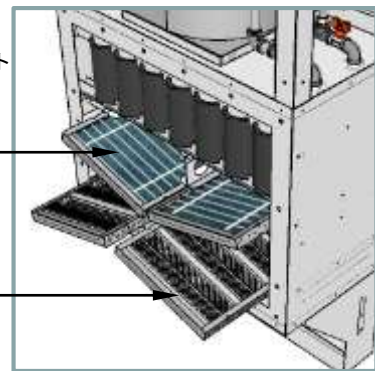
4. 給水ﾎﾞｯｸｽ設置

11. 給水ﾎﾞｯｸｽを設置し
配線します。

※給水ﾎﾞｯｸｽの設置場所は
施工場所によって異なります

青（運転給水電磁弁から）
黄（洗浄給水電磁弁から）
赤（温度センサーから）
白（送風機から）

6. フィルターをセット

12. セラミックフィルター(CF)の受台を並べます。

※受台、押台共に
2種類の型があるので
交互に並べてください。

13. 奥から1列づつCFを並べ、押台をセットしてください。

※CFを最初に全部並べ
後から奥の押台をセット
することはできません
ので注意してください。

14. 1次,2次フィルターをセット
してください。

7. 化粧板の取付

電気配線

⚠ 警　告

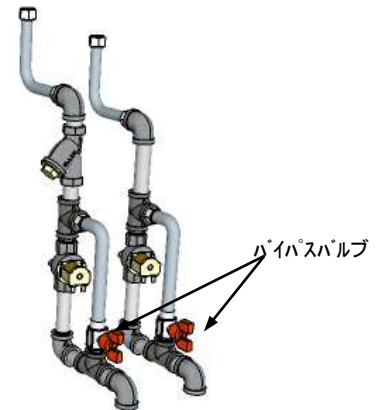
● **配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って、確実に行なうこと。**
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

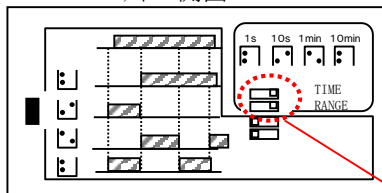
● **交流100V以外で使用しないこと。**
火災・感電の原因となります。

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

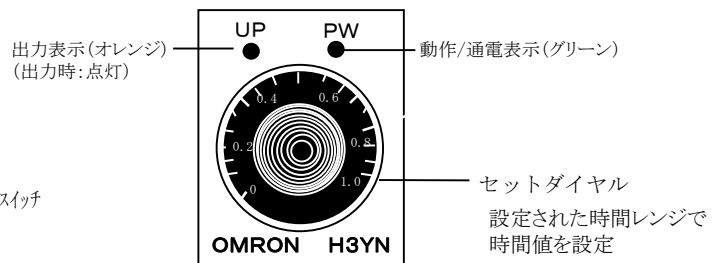
試運転

1.　試運転を始める前に誤配管がないか確認してください。
2.　総ての噴霧ノズルを取り外してから、給水元栓を開き、給水及び洗浄用のバイパスバルブを開けて、通水を確認してください。　確認後、必ずバイパスバルブを閉めて下さい。
※配管内のゴミ等を流し出して、噴霧ノズルの詰まりを予防します。
3.　噴霧ノズルを取付け、 スイッチを操作して運転状態を確認してください。
4.　スイッチをOFFにして、洗浄用ノズルからの噴霧が正常に始まることを確認して下さい。
5.　3～4までを4～5回繰り返して、正常運転を確認してください。
6.　洗浄用噴霧の時間は工場出荷時約3分に設定してあります。　噴霧状態や環境等により、設定時間を変更する場合は、「タイマーの設定方法」を参照してください。
7.　異常な騒音・振動がないことを確認してください。
8.　正常に排気されていることを確認してください。

バイパスバルブ

タイマーの設定方法

タイマー側面

時間レンジ	セット時間範囲	設定方法
1s	0.1～1s	
10s	1～10s	
1min	0.1～1min	
10min	1～10min	

タイマー上面

出力表示(オレンジ)
(出力時:点灯)
UP
PW
動作/通電表示(グリーン)
0.2 0.4 0.6 0.8 1.0 0
OMRON　H3YN
セットダイヤル
設定された時間レンジで
時間値を設定

出荷時設定

	時間レンジ	セットダイヤル
KC3の場合 約3分	10min	0. 3

お客様への取扱説明

1.　設置工事完了後は、取扱説明書に従い、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明して下さい。
2.　取扱説明書の最後が保証書になっていますので、必要項目を記入の上、お客様に保管をお願いして下さい。